

研修後に寄せられた体験談

〔平成 23 年度夏期研修参加者〕

今回の研修に参加し、様々なことを勉強させて頂きましたが、特に医療従事者と地域住民の方々との信頼関係の重要性を感じました。今回、視察した医療機関において、利用者の方々の御意見を伺う機会がありましたが、何においてもこのような医療機関の存在に感謝されていることが印象的でした。改めて、医療の充実というものが、生活の安心に直結していると実感しました。また、地域住民からの信頼感が、医師としての充実感ともなっているのであろうとも感じることができました。

昨今、医療訴訟の問題をよく耳にしますが、信頼関係が強い奥会津地方のような地域はある意味、医療の過疎地域ではないのかもかもしれないと感じました。

また、今回の研修で最も感じたことは、医療従事者は患者の苦しみを癒したいという誠意と真摯さでもって仕事に取り組んでおられる、そしてそれが医療従事者としての基本であるということを実感しました。

〔平成 23 年度夏期研修参加者〕

私は、神奈川県横浜市出身で都市部から離れた場所にある病院やそこでの医療がどのようなものなのか、今まで実際に見たことがありませんでした。小さな時に「Dr.コトー診療所」というドラマを見て、「何となく大変だけどやりがいのある仕事」なのだろうと思いました。しかし、今回の研修で実際に地域医療従事者の方や、住民の方のお話を聞き、本当にやりがいのある素敵な仕事だと思え、私もこのようなところで医師として医療に携わってみたいと思いました。

また、医師と患者さんとの距離感が近く、お互いの信頼関係が築かれていると感じました。地域で働く医師は、医師としての仕事の他に、夏は草刈り、冬は雪かきなどもしなければならないとおっしゃっていて、地域とともに生活している医師の姿がとても印象に残りました。

普段ではできない貴重な体験ができました。このような地域の魅力をもっと多くの人に知ってほしいと思います。

〔平成 22 年度以前の研修参加者〕

〇様々な医師の生き方、ポリシーを聞くことで、自分の医師像、将来のビジョンを持つ手助けにもなりました。

〇地域医療と、自分の医師となるべきモチベーションに対する考えが深まり、とても良い機会を得たと思いました。

〇今までイメージしていた「診療所」とは全く異なる様子に驚きました。百聞は一見にしかず。実際、地域医療の現場をみられて良かったです。

〇今回出会った医師たちは、大学病院で手術や研究をする医師と同じで、地域医療のスペシャリストだと思いました。

〇私は、いわゆる「町医者」として、地域住民と深く付き合っていくことのできる医師になりたいと改めて思いました。

〇医師になってからでは、忙しく休みもとることが難しくなってくると思うので、学生のうちにこのような体験ができてとても良かった。

〇自らの目で見て、その地域に住む人々と向かい合い、話を聞いて、その上でまた自分で深く考える。それによって、一歩先の未来がビジョン化されると思います。それをしなければ、実情を知っているということにはなりませんし、自分の持っている知識も、ただ誰かから聞いたとか、何かで見たとかいう、その段階で止まってしまう事が分かりました。

〇他の大学の学生さん達との懇談も良い刺激、良い経験になった。



医 師 派 遣 シ ス テ ム

